

2023年5月29日

会員、医療関係者 各位

乾燥弱毒生麻疹風疹混合（MR）ワクチン接種徹底のお願い

日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会

2023年4月27日、海外渡航歴（インド）のある成人の麻疹患者（今年4例目）が報告され<sup>1)</sup>、その後、東京都内で2次感染事例（5例目、6例目）が報告されています<sup>2)</sup>。

今年に入り、国内で報告されている麻疹患者の多くは成人（20～50歳代）で海外渡航歴を認めており（インド、インドネシア、タイ等）、麻疹含有ワクチン未接種者や接種歴不明の人が多くを占めています。

麻疹は感染力が極めて強い重篤なウイルス感染症です。現在でも特異的な治療法がなく、ワクチン接種が唯一の予防手段となります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行によりMRワクチンの接種率が低下しており、麻疹に対して免疫を持たない児・者が増えています。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今後、人流が回復する中で、麻疹の感染拡大が懸念されます<sup>3)</sup>。

麻疹流行を抑制するためには、第1期、第2期の2回のMRワクチン定期予防接種を徹底することが重要であり、1歳になったらすぐに1回目のMRワクチン接種を行い、その他の定期接種についても日本小児科学会の推奨するスケジュールに沿って確実に実施することをお願い致します。

また、麻疹に対する免疫を強化し、わが国の麻疹排除状態を維持するために、現在、実施されている成人男性に対するMRワクチン第5期接種についても、麻疹対策の観点からも保護者等に対して積極的に情報提供していくことを提案します。

1. <https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/press/documents/mashin.pdf>
2. <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/hodo/saishin/pressboueki230512.html>
3. [http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/measles\\_rubella\\_routine\\_immunization\\_rate\\_declining\\_20230322.pdf](http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/measles_rubella_routine_immunization_rate_declining_20230322.pdf)